

研究課題名	CRT 後下部進行直腸癌の pCR を予測するための新たな内視鏡分類
研究期間	2025 年 6 月 4 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	2012 年 10 月から 2022 年 12 月までの間に、当院で直腸癌が固有筋層を越え（T3 または T4）浸潤しているか、または深さははっきりしないがリンパ節への転移がある（N 陽性）と診断され、CT、MRI、または PET-CT 検査で遠隔転移（ステージ IV）がないと確認され放射線治療と化学療法（術前化学放射線療法、CRT）を受けた後に外科手術を受けた患者約 70 名を対象としています。
研究の目的・方法	研究目的：近年、下部進行直腸癌に対する術前化学放射線療法（CRT）の成績向上に伴い、術前 CRT 後に完全奏功（CR）に至る症例が増えており、外科切除を行わず watch and wait 療法を行う有効性も報告されています。術前 CRT 後の内視鏡評価による病理学的完全奏功（pCR）予測因子を解明し、watch and wait 療法の適応基準を明らかにします。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果等 試料：ありません 試料・情報の管理責任者：広島大学病院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2025 年 6 月 4 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科 教授 岡 志郎
その他	特記事項なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 内視鏡センター、医系科学研究科消化器内科学
担当者：山下 賢、洪 伸有基
〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3
電話番号：082-257-5193